

# 夏型過敏性肺炎「長引く夏かぜ？」実はカビの仕業（夕刊フジ）

YDNの技術で、あなたと社会をよくするための活動をつなぎます

**YAHOO!** ニュース IDでもっと便利に新規取得  
JAPAN ログイン

キーワードを入力

ニュース

トップ

速報

写真

映像

雑誌

個人

意識調査

ランキング

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT・科学

ライフ

地域

## 夏型過敏性肺炎 「長引く夏かぜ？」実はカビの仕業

夕刊フジ 6月25日(木)16時56分配信

ツイート 1

シェア 1

【気になるこの症状】梅雨に入り、カビが繁殖しやすい時期。カビの胞子を吸い込むことで、アレルギー性の肺炎を発症するのが「夏型過敏性肺炎」だ。放置していると毎年繰り返すだけでなく、次第に肺の機能が失われる。長引く夏のかぜ症状には要注意だ。

### 【期間限定の症状】

原因は「トリコスポロン」という種類のカビ。白や黄色っぽい色をしていて、室内の水回りなどの腐った木材を好んで繁殖する。「温度20～25℃以上、湿度60%以上になると急速に増殖する」と、池袋大谷クリニック（東京）の大谷義夫院長（日本呼吸器学会指導医）が説明する。

「症状はかぜに似ていて、せきが出る、微熱が続く、何となく息苦しい。ただし、症状が現れるのはカビが増殖している夏から秋の期間限定。冬になると症状が治まるのが特徴です」

本当のかぜなら2週間以内には治る。毎年決まって夏に、長引くかぜ症状が起るようなら疑った方がいいという。

### 【慢性化すると怖い】

同じ家に住む全員が発症するわけではない。カビが放散する胞子を最低2年以上吸い続けていて、免疫抗体ができた人にアレルギー反応が起こる。だから専業主婦や高齢者など、在宅時間の長い人ほど発症リスクが高い。

「もう一つの特徴は、アレルギー性の肺炎なので抗原（原因のカビ）から離れると症状が治まる。旅行などで3～4日外泊して症状が消えるようなら、さらにこの病気の可能性が高いです」

ただし、胸のレントゲンを撮影しても呼吸器専門医でないと診断が難しい。適切に治療されずに放置されている患者は多いとみられている。

「発症から5年もたつと、慢性化して肺線維症に移行する恐れがある。こうなると肺の組織が硬く縮んでしまい、季節に関係なく1年中、せきが出て息苦しい。進行すると呼吸機能低下で死に至ることもあります」

### 【治療はカビの除去】

## 夏型過敏性肺炎「長引く夏かぜ？」実はカビの仕業（夕刊フジ）

慢性化する前に見つけるのが重要。疑いが強ければ、3日以上外泊してもらい症状の軽減や抗体検査の結果などから総合的に診断する。

「根治するには、原因のカビを徹底的に除去するしかない。医師が発生場所を調べて、患者さんには短期間、他の場所に移ってもらい業者にリフォームしてもらおう。家が古すぎて改装しようのない場合には引っ越すケースもあります」

築20年以上の木造家屋はトリコスポロンが発生しやすい。マンションでも湿度の高い3階くらいまでは要注意。木材だけでなく、枕の内容物に原因のカビが生えていた事例もあるという。

「風呂場や台所など、水にぬれる場所はこまめに拭き取ることが大切です。また、2週間以上続く夏かぜの症状は、きちんと呼吸器専門医に鑑別してもらいましょう」

### 《トリコスポロンが発生しやすい場所》

- ★風呂場と脱衣所の間にある木の枠が腐っているケース
- ★台所の流し台の下の水漏れ場所
- ★洗濯機周囲の水漏れ場所（洗濯機下防水カバーの裏も）
- ★雨漏りや床下浸水の経験があれば、床板や畳の裏など

### 【関連記事】

気胸、胸や肩の痛みが長く続けば注意  
もやもや病 熱いモノ吹くと発症する？  
働き盛り世代に多い「突発性難聴」 原因は血流障害かウイルス？  
クモ膜下出血 激しい頭痛 生死分ける最初の出血量  
腫れ、痛み、骨破壊 早期治療開始が重要な関節リウマチ

最終更新:6月25日(木)17時30分

夕刊フジ

ツイート 1

シェア 1